資料3

ワーク・ライフ・バランス社会の実現度指標の体系図（案）

＜個人の総体でみた実現指標＞

[5分野]	[中項目]	[小項目]
I 仕事・働き方	1 希望する働き方を実現する機会は設けられているか	
	2 柔軟に働き方を選択できるか	① 個人が人生の各段階における希望に応じて、柔軟に働き方を選択できているか ② 選択肢の待遇面での公平性は保たれているか
	3 多様な主体が希望に応じて働けるか	① 女性や高齢者等も含めた多様な主体が希望に応じて働けているか ② 育児・介護等を機に仕事をやめていないか。
	4 過重な負担となったり、生活が維持できないような働き方をしていないか	① 仕事のための拘束時間が過度に長くなっていないか ② 経済的な安定性が損なわれていないか
II 家庭生活	1 家庭で過ごす時間はとれているか	① 家庭で過ごす時間はとれているか ② 希望する形で家庭で過ごす時間をとれているか
	2 家庭内での男女の家事・育児等への関わり方はどうか	① 家庭内での男女の過ごし方はどうか ② 性別役割分担意識に男女で差はないか
III 地域活動	1 希望する人が地域活動等に参加できているか	① 自ら希望するバランスで地域活動に参加できているか ② 自ら希望するバランスで、近所付き合い・交流等ができているか
	2 多様な主体が地域活動に参加できているか	
IV 学習や趣味・娯楽等	1 学習や趣味・娯楽等のための時間はあるか	
	2 多様な主体が学習や趣味・娯楽等を行っているか	
V 健康・休養	1 仕事を通じて心身の健康を害することはないか	① 仕事が過重な負担となることで精神的に悪影響を与えていないか ② 仕事に起因し、心身の健康を害する状況は生じてないか
	2 休養のための時間はあるか	① 個人がゆったりと休養して仕事等による疲労を回復する時間がとれているか ② 希望する形で休養をとれているか

＜官民の取組指標＞

官 民 の 取 組 指 標